

## 奥駈道(行仙宿く持経宿間)の台風通過後の点検巡視

◇実施日；10月16日(日)

◇参加者；栗原眞行。茂原 治、茂原 仁、平澤 研、

正木勇治、皆川 光、灘 浩一、徳舛弘己、

川野陽平、南出昌紀、部谷大山、田中愛弓。

後藤証巖、川本進龍、戸田貴進(以上葛峰進龍山証巖坊)

計15名

行仙宿にて六時起床、朝食後、行者堂において、証巖坊の方々による峰中安全祈願の勤行を終える。七時五〇分に栗原先生の先導により、医療法人やまびこ会・証巖坊班、総勢一五名で出立。行仙補給路下に置いてきた車を持経に回送して下さる山彦ぐるーぷの方々に見送られながら、出立の合図に証巖坊・川本氏が法螺を吹いて下さり、約四時間の巡視が始まった。山上氏は最初の登りまで見送って下さり、写真を撮って下さっていた。

八時一五分、行仙岳山頂に到着し、小休止後、南出氏のエキゾ



法螺を吹きつつ出立



行仙宿からの最初の登り

行仙岳山頂にて



大台ヶ原方面を望む



チックなM字開脚を拝む形で記念撮影。

八時三〇分に「怒田の宿跡」を通過、朝からガスが強かったが、大台ヶ原方面の山々が微かに見渡せていた。

途中、奥駈道の尾根に沿って曲がるところを直進してしまいそ

うな箇所にも、栗原先生が新しい道標を取り付けられた。

そして、栗原先生の配慮により、小休止をこまめに入れていただきながら、九時四〇分、具利加羅岳山頂に到着し、近年になって見つかつたという金剛童子像のある本来の山頂で証巖坊・戸田氏のリードで勤行をしていただく。この日は終始風が冷たく、休憩の度に寒さを感じ、手袋を手放せずにいたが、栗原先生はトレードマークという半袖、半ズボンで平気な様子であった。

ペースが少しずつ上がってきたのか、田中氏の病院手術室秘話に夢中になっていたせいなのか、前方を歩いていたら方々を見失う場面もありつつも、一〇時二〇分、転法輪岳に到着。この道中の会話で発覚したのが、今回初参加となった田中氏は、ヒマラヤ山系での十日間に渡る三千メートル級・縦走登山を経験されている山の強者であったのだ。そのような登山でも、ポーターも雇わない方に荷物を持つとかと声をかけたこちらが恥ずかしかつた…。

一〇時四五分、平治宿に到着し、小屋前の丸太やその周囲に皆



で腰を下ろし、しばし休憩。修験者に憧れていた田中氏は、証厳坊の方々の話に大いに盛り上がり上がっていた。後藤氏が中心となり、毎月第四日曜日に「文蔵乃瀧」にて護摩焚と滝行をされており、希望者は自由に参加させていただけるとのことであった。

十一時〇五分、中又尾根分岐を通過し、十一時三〇分、千年檜に到着し、無線機で持経宿・川島代表に連絡。今回の巡視ルートにおいては、台風による道を塞ぐような倒木や目立った崩落は無いように見えた。

林道に降りたときには山上氏が出迎えてくださった。十一時四五分、持経宿到着。すぐに、証厳坊の方々による最後の勤行が不動堂において厳粛に執り行われた。その後、持経宿で缶パンなどの昼食を取り、十二時五〇分に回送していただいた車で下北山スポーツ公園に向かって出発。先頭車両の沖崎氏が転回した瞬間、その前に皆川氏が運転する車両が反対方向に走り出し、さらには既に見えなくなっていたことに気付く。茂原仁氏が運転する車両に乗り、皆川氏を追いかけられるも、なかなか追いつかず、焦りながら、同乗者の各キャリア別の携帯電話を確認してもらっても、電波は圏外。その後、皆川氏が車両を停めたおかげで追いつき、

そこから引き返し、川島代表も途中まで探しにきてくださった。合流することができた。いつも、当然ながら携帯の電波が届かないところを走るが、複数台の車両で走行する場合は、無線機が必要だと強く感じさせられた。茂原仁氏や沖崎氏が乗るデリカD5では、林道を突っ走ることすらできないであろうから。

下北山スポーツ公園で、私の車を回送してくださった青木氏とも合流し、「鍵を無くした」との決め台詞をいただきつつ、川島代表の終礼をもって、十三時五〇分、解散となった。

証厳坊の方々を除く医療法人やまびこ会班の十一名は、公園内の「きなりの湯」に浸かり、十五時に三台に分かれて帰路についた。私が乗る車両は、十八時にもはらクリニクに到着し、同乗していた方々が各自の車で帰路についた。今回改めて、169号線を経由するほうが、168号線経由よりも速いことがわかった。

今回の道普請参加は、諸事情により二年ぶり（前回、二〇一四年十一月二九日〜三十日）となつてしまった。そして、今回もいつものことながら、山彦ぐるーぷの方々に大変なご準備を強いてしまい、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいであった。別れ際に沖崎氏には、次こそは来年五月にまた来ますので、最後にまた無理をお願いしつつ別れた。皆様に深謝。（記 平澤）



証厳坊の方々と田中氏



スポーツ公園にて終礼